

きほく人奮闘記



鬼北町精神保健ボランティアグループ
つつじ

(左から)代表 浦田 典子さん・副代表 関 由貴子さん

10月30日、松山市総合コミュニティセンターで開催された「第54回愛媛県精神保健福祉大会」。この大会で、鬼北町精神保健ボランティアグループつつじ(代表・浦田典子)が、精神保健福祉向上の功績を称えられ、団体の部で愛媛県知事表彰を受賞しました。

現在、会員29人で活動しているつつじは、当町の精神保健ボランティア講座受講者の有志により結成され、昨年10周年を迎えました。「できる時に、できる人が、できることを」をスローガンに掲げ、地域の当事者や家族のそばに「寄り添う」活動を展開しています。また、地域住民に対して、「心の健康」について広く知ってもらうため、啓発活動を行うなど、笑顔で共生できる町づくりを推進しています。

浦田代表は「わかば作業所での活動においても、相手の心と真正面から向き合いながら、暗中模索を繰り返してきた。私たちにとって「つつじ」は、自分自身も成長できる大切な場所」と、今までの活動を振り返りました。

表彰を受けた会員たちは、「みんなでこつこつと取り組んできたこの活動を認めてもらって、本当によかった」と、笑みを浮かべ、「これからも微力ながら、つつじ独自の活動を続けていきたい」と、気持ちを新たに意気込んでいました。

鬼王丸 ほのぼの日記

作 梶形 浩人
絵 にのみや なつみ



編集後記

▼全国各地から集結した和太鼓集団が魂の演奏を響かせた、「鬼のお太鼓コンテスト」、そして、引き続き行われた「でちこんか前夜祭」。朝から晩まで太鼓の音が鳴り響く一日となりました。それぞれが披露する趣向を凝らした唯一無二の演奏を聴き、太鼓の鼓動が体に響く感覚がとても心地良く、改めて日本文化の素晴らしさを感じることができました。

▼そして、翌日開催された「でちこんか」。早朝まで降り続いた雨も上がり、今年も鬼北町の秋にたくさん笑顔の花が咲き誇りました。(悠)

人口と 10/31現在

世帯数

人口 10,867人
男性 5,090人
女性 5,777人
世帯数 5,129世帯
※外国人住民を含みます。